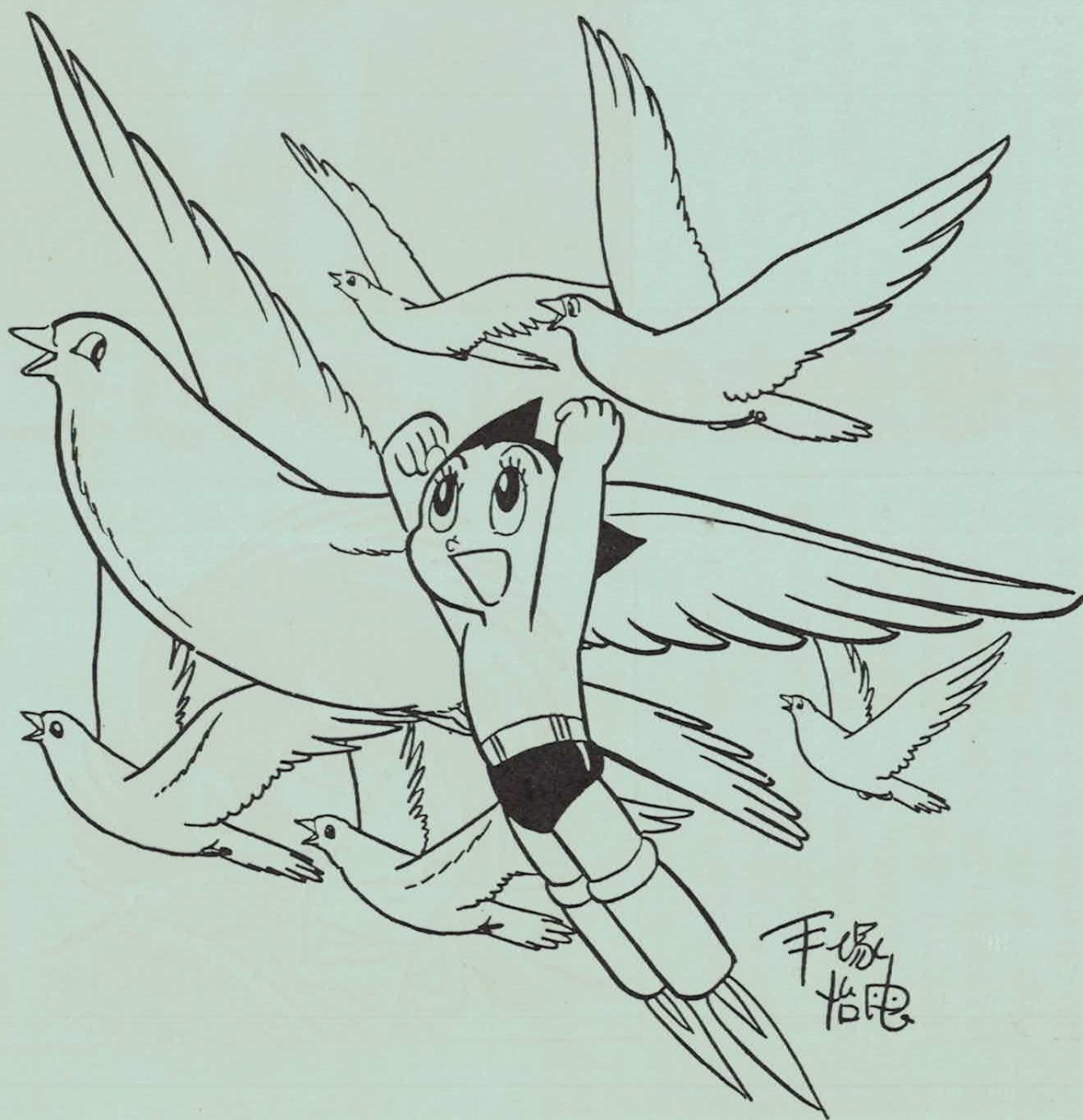
手塚治虫とファンを結ぶ

手塚治虫ファンクラブ

会誌1号

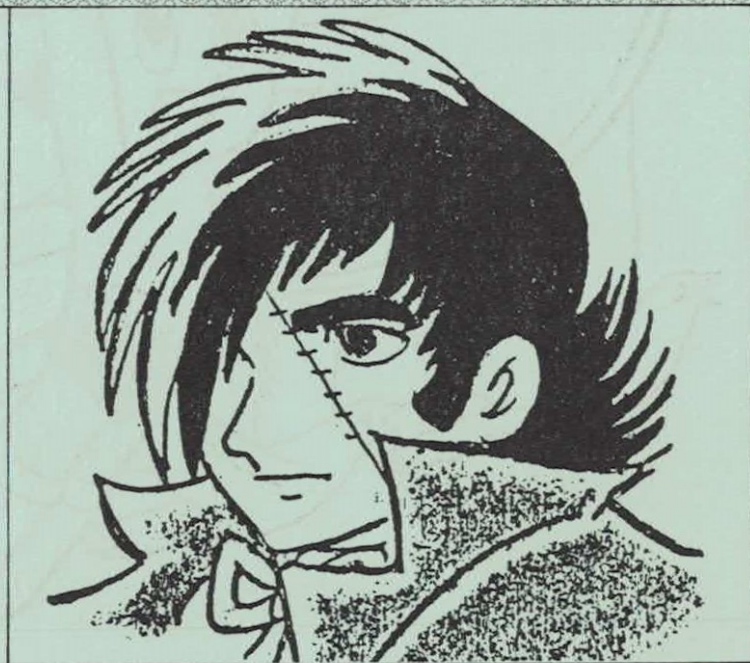
1979年7月1日発行

手塚治虫

手塚治虫のおしゃべりコーナー

ブラックジャックが終わったわけ

こんにちは。今回からこのページでみなさんとお話しすることができて、うれしく思います。ご意見ご質問なんでも承りますから、ごえんりょなくお便りをお送りください。作品へのお叱りやはげましなんかも、大歓迎です。

まず、ブラックジャックをやめて、なぜ、ドン・ドラキュラを始めたのか、そこいらへんのいきさつから申し上げましょう。

ブラックジャックは、ほんとうは、もうすこし続けてもよかったのです。しかし、多くの読者から、マンネリだ、やめてしまえ、というお叱りをいただいて、ファイトを失ってしまったわけです。

それと、あまりにも制限や制約の多さに、書きようがなくなったこともあります。

いつぞやのロボトミーの事件は、明らかにミスによるものでしたが、その他にも、いろんな団体や組織から、これを書いてはいけない、あれは書いては困る、という抗議がいろいろ来て、しまいには、ブラックジャックは、ただのケガをなおす救急医師みたいな立場になってしまい、病気はほとんど扱えなく

なってしまったからです。抗議はおもに、書かれた病気の患者さんとか、医者、肉親などからですが、中にはマンガとはいえ、でたらめを書かず真実の話を書け、などという抗議もあって、ほんとうに書きづらくなったことはたしかです。
しかしブラックジャックは、ぼくもすきな主人公ですから、今後も、ときどき読み切りでチャンピオンに載せますから、どうぞよろしく、単行本にも、抗議のあった話以外のものはなるべく全部収録したいと思います。

ドラキュラをよろしく！

さて、ドン・ドラキュラですが、ブラックジャックが終わったあと、どんな新連載をやろうかといろいろ迷ったすえ、ブラックジャックとは正反対のマンガを書こう、ときめたのです。
それは、喜劇であり、ドタバタであり、主人公はお人よし、オッチョコチョイ、そしてやたらと権威をふりまきたがる、という男です。よく、マンガ家は一つヒットした主人公を作ると、すぐその二番煎じをほかの雑誌に載せたがるものですが、ぼくはブラックジャックの性格だけは、そのエピゴーネン（ものまね）をつくりたくなかったのです。
ブラックジャックを見馴れた読者には、ドン・ドラキュラはあまりに風変わりで、とまどったことと思います。また、なじめない、肌にあわないというかたがあるかもしれません。
でも、ドン・ドラキュラは、また別の意味で、ぼくにとって書きやすい主人公です。かわいらしく、そしてもの悲しい吸血鬼のプライバシー（個人生活）を書きたいと思います。でも、もしこの作品について、ご批判があればえんりょなくおっしゃってください。まだはじまったばかりですから中止するわけにはいきませんが、内容にはこれからもひろがりをもたせるつもりですから、どんどん意見をとりいれていきたいと思います。
さしあたり、ドラキュラ一家に、もう一人若い吸血鬼を加えようと思います。
また、ブラックジャックを時折書く際にはドン・ドラキュラと二本載せることになるかもしれません。そのときはよろしく。

大成功!! ファン大会

去る4月30日、東京・九段会館で、手塚治虫ファンクラブ主催、手塚プロ後援の、手塚治虫ファン大会が催されました。

当日は昼の12時開場というのに朝の7時からファンの列ができ、中には新潟県や岩手県から来たという人もいて、スタッフ一同驚くやら感激するやら。

会場ではバンダーブックのセルや本の販売もあり、悟空の大冒険、青いトリトン等のパイロットフィルム、ユニコの公開など、アニメの魅力をたっぷりと堪能した後、手塚先生の講演となりました。

「火の鳥」について（講演）

まず、「火の鳥2772」の事から話そうと思います。皆さんは昨年の市川崑監督の東宝作品を御覧になったと思います。あれは、色々な手違いなんかもあったんです。市川監督が「火の鳥」のクランクインの期間に、「金田一耕助」なんか撮っていたり、僕はおととしの（五十二年）の暮れあたりから「火の鳥」にかかっていただけると思っていたのに、「女王蜂」なんてものができてしまったりして、大変くやしかったし、もしかしたら市川監督は疲れ果ててしまって、もう「火の鳥」の方には全精力をつぎ込んでいただけないんじゃないのかと心配しました。

それでも監督は精力的に走り回って、ああいう映画「火の鳥」ができたわけです。あれでもかなり省略しているんです。特に、特撮の部分がなかなか思うようにできませんでした。

実は火山の爆発なんか特撮でやろうという話がありました。実際にそんな部分もあったんですけれども、なんだか溶岩の流れ出す所がトコロ天が流れるようにジャーとなってしまい、火山のスペクタクル性がでないということで全部カットしたりしました。

アニメの部分もかなりの長さのものを作ったんです。市川監督が指定されたアニメの部

マイク持つ手もプロ歌手なみ？

分は、映画の部分の三倍も四倍もの長さがあり、それを手塚プロでコツコツやりました。とにかく昼も夜も寝ずに作ったフィルムがかなりあったんですけれども、今度は長すぎるという事で、監督は、できあがったフィルムからかなりのアニメを切ってしまわれたんです。火の鳥のエピソードとかアニメの素晴しい所が無くなってしまいました。

でもこの「火の鳥」の全体を見ますとかなり良く動いてはいる。しかし実際には、その映画にでてきたアニメはほんの一部であり、あれだけでは惜しい。そうして二作目の「火の鳥」はオールアニメで行こうという話になったわけです。

映画「火の鳥」の一場面　（市川監督作品）

映画ではヒョウタンツギだけは出せということでしたが、これは楽屋落ちになってしまいますし、またアトムなんかも出てましたけれど、あれは全く私のあずかり知らぬ事でした。出すつもりじゃなかったんです。とにかくヒョウタンツギはカットしました。それよりもっと他にアニメで面白い趣向があったんですが、全部カットされました。狼がUFOを踊っていますが、あの前に歌舞伎の狼とかいろいろあったんです。残念ですがそれも全部カットされました。つまりフィルムが多すぎるということで、とにかく短くする事にのみ専念したために、ああいうフィルムになってしまったんです。あれが三時間ぐらいの映画ならたいへん堪能できるドラマになったんじゃないかと思っているんです。

今度はアニメですから、手塚プロの総力をあげて私が責任を持って皆さんにお見せするわけです。原作より良い物を作ろうと努力していますので期待していただきたいと思います。

今度の「火の鳥2772」は七万枚という セルを使います。七万枚というと、ディズニーぐらいの動きになるわけです。実際にはそ

んなに動くかどうかは別として、少くとも一時間四十五分ぐらいの映画で七万枚という のは、一時間半で五万枚と称している東映の「白蛇伝」、あれくらい動く、完全なフルアニメです。

ただ、アニメはものすごく動いたから良いとは限らないんですね。あの「日本昔話」なんかはほとんど動いていないけれど、やはりあれもいいですね。つまりいいというのは、ほんとうに動かしたいように動かして、そして雰囲気を盛り上げるというのがやはり一番なんじゃないかと思うんです。

ただ動きがいいからといって、ポカポカ殺したり暴力があったりという形じゃなしに、アニメの夢という物を見せたい。

今度の「火の鳥2772」には、火の鳥らしい、アニメの面白さというものをうまくほうり込むつもりでいます。

(ここで、先生は大きな紙に火の鳥に出て来る宇宙人などのキャラクターをいくつか描いて紹介)

マリンエクスプレス

もうひとつ、アニメの話をします。去年「バンダーブック」というのをやりましたね。今年も八月二十六日の日曜日に十時から十二時まで、日本テレビで二時間のアニメを放映します。CMが入りますから、実質は一時間四十分ぐらいの「マリンエクスプレス」という作品です。これも手塚プロで作ります。

「バンダーブック」は宇宙の話だったんですけれども、今度は海の話、いや海の話というよりは、ある秘密境、海の秘境を探検する話なんです。この秘境というのは「三つ目がとおる」のような、ああいう古代国家です。それともうひとつ、海底に、ずうっと列車を走らせて、その列車の中で事件が起こるという趣向の二つを混ぜております。つまり「オリエントエクスプレス」ふうのミステリーと、それから「ハリケーン」のようなスペクタクルとこういうものを兼ね備えた大作です。これに出て来るキャラクターは全部、今までの私のキャラクターです。つまり、リボンの騎士、レオ、アトムを含めてヒゲオヤジなんかも出て来るオールキャストです。

どこにどういう人物が何の役で出て来るかもお楽しみで、それだけを楽しみに見ていただいても、面白いんじゃないかと思います。主人公はヒゲオヤジです。ヒゲオヤジは伴俊作と言う探偵で最初から登場して、ナゾの事件ととり組むわけです。つまり、エルキュール・ポアロですね。ヒゲオヤジはこのところ、探偵になる役が非常に少ないんで、一回

会場をうめたファンの顔々

そういう役を徹底してやらせてやろうという事を考えています。ぜひこれはご覧ください。

ファンとの質疑応答

――カオスはなぜ宇宙商人なんかになったのですか。

先生　あれはね、最初からの試みです。つまり「不毛地帯」という小説の中に総合商社の話が出て来るんですけれど、宇宙の総合商社ってどういうものか書いてみたかった。だから終わった所がプロローグなんです。で、商人と地球の独裁者っていいますか、エリートですね。この二人のかかわり合いをある意味で現代の見本として風刺したかったんです。が、その前に打ち切ってしまったわけです。書けなくてほんとうに残念です。

――今までに書いた中で大変難しかった作品はなんですか。

先生　そうですね、ちっとも書く気が起らないのに書かなきゃならないというのが、いやだったですね、特に、人気がたまたまあって、話は終わったのにもっと続けて書いてくれっていわれる時がある。もう筋が無いんだけど続けざるを得ないですからね、こういうのはいやですね。それともうひとつ、僕の肌に合わない漫画があるんです。どうしても、もうちょっと熱を込めて書けないと言うか、最近の、ある青年物漫画（ＭＷ）を書いたんですけれど、あれははじめっからいやだったですね。だいたい僕はね、少年物で熱中していた頃に青年物をやるっていうんでほとんど熱中しなかったですね。

（このほか「メガネをとった顔を見せて」といわれて、「ハイこれでいいですか」とメガネをとったりして、一〇〇〇人がなごやかに楽しくすごしました）

アニメ「火の鳥」のキャラクターをかく先生

メガネをとった顔を見せたり……

国際児童年のバッジに「アトム」

ファン大会のあと五月五日子どもの日、手塚先生は「友情あふれる―子どもまつり」に参加。代々木公園で四万人の子どもを前にまんがを描いてよろこばれました。

今年は国際児童年で、先生は「国際児童年東京懇談会」の呼びかけ人の一人で、国際児童年を記念したアトムバッジは好評。

「僕は、大阪・淀川で大空襲を体験し、戦争はもうたくさん、もう結構という思いが切実だったから、いま、また〝戦争〟の脅威が子どもたちをおびやかしているのは我慢ならないんですよ。アトムバッジが、おとなたちみんなで平和への努力をしようというアピールにもなればと思いますね。」

制作進行中の「マリンエクスプレス」についてくわしく知りたいというファンの声がありました。「どんなものかは仕上げをごろうじろ」ということなのですが、それでは会誌の役をはたせない。編集部は意を決して制作室へズカズカと入りこみ、山本智、出崎哲両ディレクターに強引にインタビューです。これもファンクラブだからこその特権でしょう。

○「マリンエクスプレス」というのはどのようなお話しですか。

■皆さんの本番での興味をそいでしまうといけないのであまり詳しくはいえませんが、海洋冒険物で、前半はマリンエクスプレス一号が海底を走って行く間のスリルを描くサスペンス、後半はSF古代ロマンで、場面は一転してムー帝国の話へ移るわけです。

○テーマは何でしょうか。

■今年の24時間テレビが、「みんなで力を合わせて生きていこう」というようなテーマですから、初めマリンエクスプレスに乗っていた人たちが、いろいろな危機をどう力を合わせて乗り越えていくかということですね。

○手塚キャラクター総出演だそうですね。

■そうです。前年の「バンダーブック」では、ブラックジャックと三つ目ぐらいでしたが、今回は先生のキャラクターでない者を見つける方がむずかしいくらいです。

　主な人物を言いますと、伴俊作ことヒゲオヤジ。医師ブラックジャック。ナーゼンコップ博士にお茶の水博士。その息子にロック。他にもアトム、レッド公、ランプ、ハムエッグ、レオ、ドン・ドラキュラ、などがほとんど主役級で出てきます。ですから、むしろ前半における主役というのは、マリンエクスプレス一号という列車であるといえるかもしれません。

○手塚先生の担当する仕事を教えてください。

■先生は総監督で、シノプシスから絵コンテ、キャラクター設定などを担当されていますし、アニメーションらしいギャグの部分、例えば「バンダーブック」の中でのおもしろい動物みたいなものを、今年も出すので、その部分は先生が原画も描かれます。

キャラクター

（手塚治虫自筆のキャラクター設定表）

件 俊作（ヒゲオヤジ）----- 私立探偵

ブラックジャック ------------ 医師

ナーゼンコップ博士 ------- 工学者

ロック・ナーゼンコップ ------ その息子

スクルージ・シャイロック ---- 海底鉄道建設公団理事長

アダム --------------- その息子

クレジット長官 ----------- アメリカの国務長官

ミルドレッド（ミリー）------ その娘

アセチレン・ランプ ------- 新聞記者

スカンク -------------- ハイジャッカー

シャラク -------------- ポリネシヤ人ボーイ

フライナ --------------- ムー帝国の女王

レグルス ---------------- 女王のペット．人語を話すライオン

ドンドラ ---------------- ムー帝国の宰相

ポーデン ---------------- 反女

ガロン ----------------- ドンドラの操る怪物

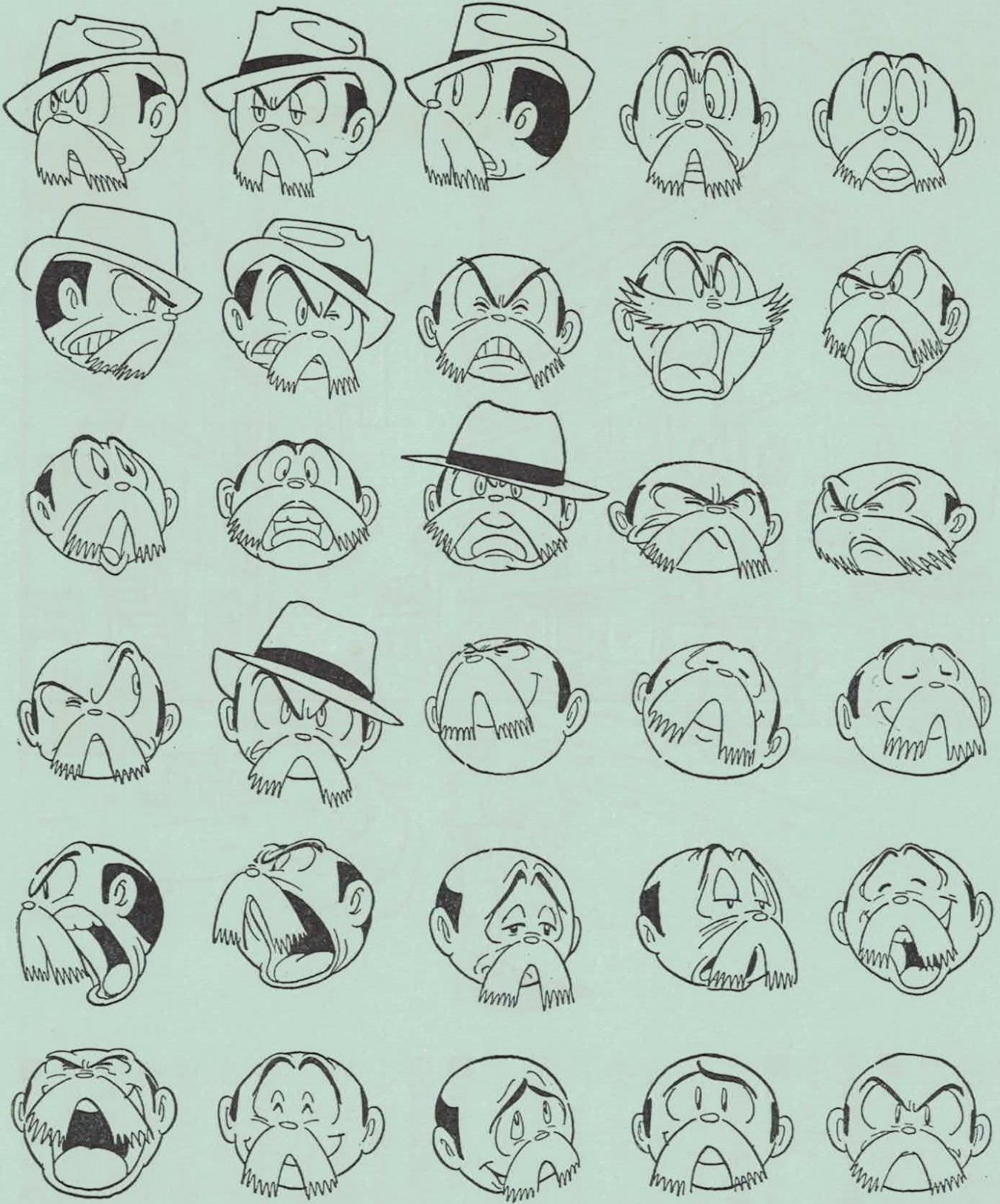
丸首文三 --------------- 日本の建設大臣

佐々木 ---------------- そのボデーガード

ピノコ ----------------- ブラックジャックの助手

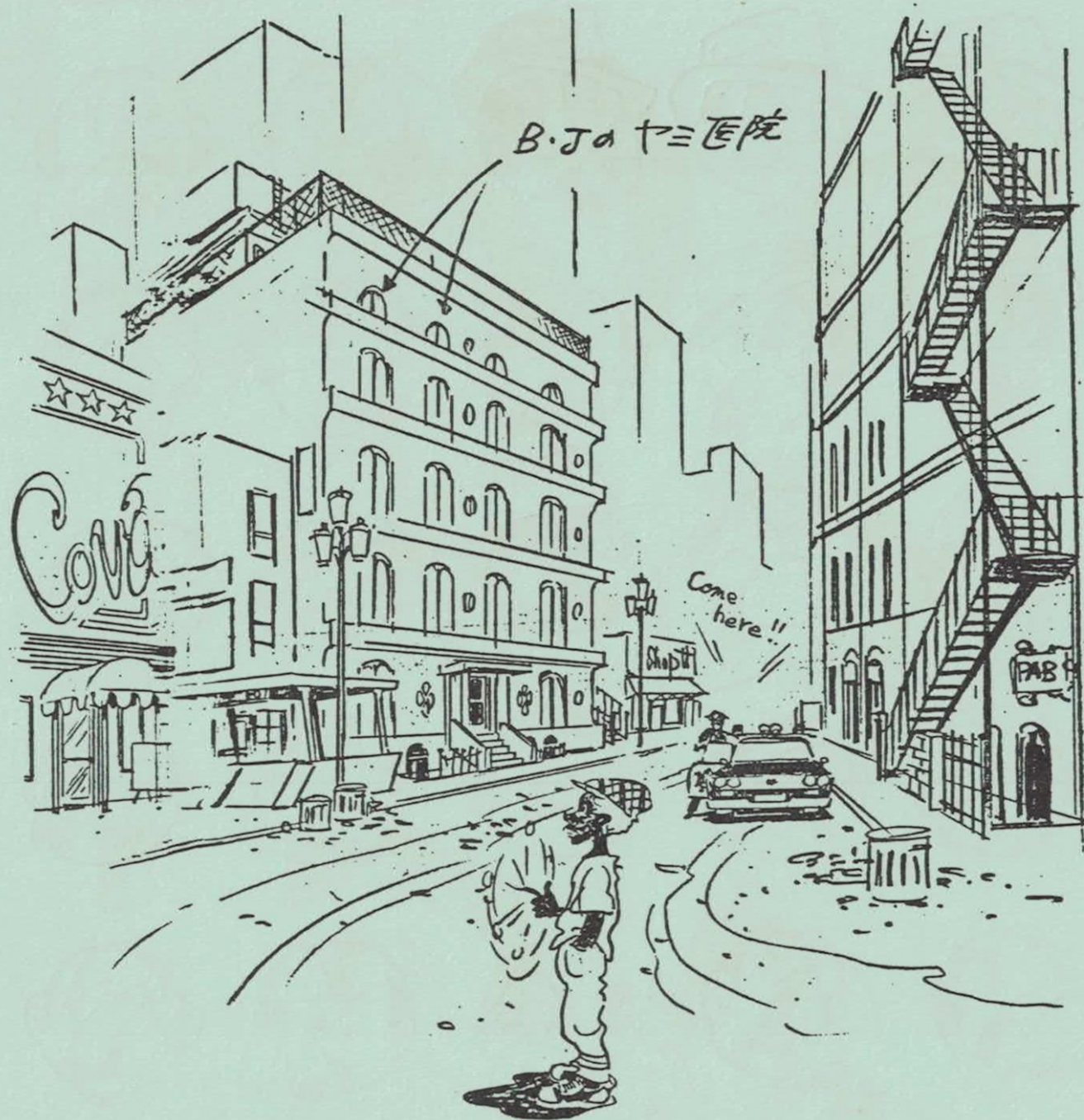
マリン・エクスプレス　音楽リスト

1　タイトル音楽	豪華なフルオーケストラ	海洋のひろがりと神秘性。プロローグつき。
2　マリン・エクスプレスの主題（第1テーマ）	ロック風でリズミカルな曲	列車の走る感じ テンポ早く。軽快。おぼえやすいもの（歌謡調ではない）
3　ムーの主題（第2テーマ）		南国調のスローテンポの曲　ムーディアスに（〝モア〟のような）
4　出発の音楽		重厚で威圧風 すこしづつリズム早くなる。（ジョーズのテーマの如く）
5　ドンドラの主題（陰謀と破滅）	ロック	不気味でくらい感じ あまりハードでない（悪人なのです）
6　女王のBGM		ムーの女王
7　南海の饗宴の主題		〝最后の楽園〟的なにぎやかなもの（コーラスはいってもよし）
8　サスペンスのBGM		海底火山、サメ出現などいろいろに使います
9　暴走のBGM（第3テーマ）	ハードロック	

（主役ヒゲオヤジの百面相〈先生自筆〉）

○見どころはどんな所でしょうか。

■そうですね、前半のみどころというのは、その終わりで列車が爆破されてしまうのですが、そこまでの間にたくさん出て来る人物を、ヒゲオヤジを中心として、どう興味深くおもしろく紹介できるかということですね。列車の爆発シーンもできるかぎり見せ場にしたいと考えています。それからギャグも、手塚ファンに喜んでもらえるような工夫がされています。

後半になると、やはりムー帝国のようすと、帝国を襲うハリケーンの場面がヤマ場となりそうですが、最後はどんでん返しがあるようです。これは見てのお楽しみとしておきましょう。

○演出的な面での趣向はどうですか。

■今回の作品は舞台が海底ですから、背景を水彩画的な淡い物にします。これは先生のアシスタントのいる制作部が受け持ち、今までの、ポスターカラーをごてごて使った背景とはまるでちがったものになるでしょう。でも、後半のムーの宮殿などは、壮大な景観となるでしょう。

それから今回は、二コマ撮りを増して欲しいという要望が先生からあり、絵がよりスムーズに動くようにしたいと思っています。

○動画枚数はどのくらいになりますか。

■去年の「バンダーブック」は制作上のトラブルなどからリテイク分を含めて二万三・四千枚ぐらいになってしまったのですが、そういうトラブルがなければ、今回は一万八千から二万枚ぐらいでしょう。そしてフィルムは、バンダーと同じように、将来劇場用にするため、三十五ミリ撮影で行います。

○音楽は誰が担当するのですか。

■「バンダーブック」の作曲をした大野雄二さんです。

○最後にひと言おねがいします。

■スケジュール的には昨年よりむしろきついのですが、がんばりたいと思います。手塚先生もヒゲオヤジの演出など意欲をもやしてはりきっています。

「マリンエクスプレス」に登場する手塚キャラクターの一部。前ページは絵コンテの一部

手塚治虫漫画全集もこの八月で、第一期一〇〇巻が完結となる。三〇〇冊以上の大全集の第一分岐点ということで、これまでの苦労話や裏話、そして今後の予定などを講談社の担当者斉藤哲夫氏に聞いてみた。

シメキリ!!

第一期では二ヵ月分ほど刊行がズレたことがありましたが、まあこの二年余の苦労といえば、やはり原稿のシメキリということになるでしょう。読者の方々に「発売日を一定にしてほしい」ということをよくいわれましたが、何分にも、月四冊というかなりのハイペースですし、手塚先生は、いくら忙しくても原稿の校閲や整備に手をぬくことをしません。

ふつうシメキリというと、我々編集者には、苦痛がつきものですが、ここでは先生をはじめ、アシスタントの方々の作品に対する情熱とか、愛情とかが感じられ、「よし、いっしょにがんばろう」と緊張し、ファイトをかきたてられます。ですから、原稿があがった嬉しさは格別のものがあります。

刊行リストが…

「百巻のリストを発行順に教えて」という声も多く、私たちもだいたいの予定はたててあるのですが、昭和二十年代のものなど古い作品の中には原稿のないものもかなりあり、こういうものは復刻したりトレースしたりしなくてはならないのです。これは時間のかかる作業ですので、間にあわない時には、他の作品を補充しなくてはならないというわけです。一応マガジンへの投書には、二・三ヵ月先の予定の返事をさしあげていますので、これでお許しいただきたいと思います。

講談社
少年マガジン編集部
斉藤 哲 夫氏

「やたら変えるな！」

もう一つ多い声は（これは先生の所へ来るファンレターでも多いそうですが）「雑誌掲載時の元のままで単行本化してほしい」というものです。この全集以前の単行本にはページ数の制限があって、先生が泣く泣く原稿をけずってしまった部分も多く、それへの不満の声なのですが、この全集はページ数の制限が非常にゆるやかですから、これまでの単行本よりは読者の希望に添えていると思っています。

手塚先生としては、自分の作品を今できる最高の形で皆さんのお目にかけようと努めて

いるわけですし、また、古くなったギャグやセリフなど、現代の読者に合うように変えているのです。

とにかく、今まで幾つかあった先生の全集なるものは、皆中途半端に終わっていますが、この手塚治虫漫画全集はすでに百巻をむかえていますので、このことだけでも私としては自負できるものと思っています。

第二期百巻も、第一期の完結後休まずに続けて発行していきます。その際にはまたいろいろと、サービス企画も考えておりますので、御期待願いたいと思います。(談)

(下の表は第二期刊行予定の予定作品リスト)

少女クラブ版「リボンの騎士」も……

新宝島
ロストワールド
地底国の怪人
魔法屋敷
太平洋Xポイント
新世界ルルー
地球を滅ぼす男
38度線上の怪物
レモンキッド
サボテン君
虹のとりで
ジャングルタロ
ピストルを頭にのせた人々
ジャングル魔境
一千年後の世界
旧ライオンブックス①〜③
少女クラブ版リボンの騎士①②
ケン一探偵長①②
おれは猿飛だ①②
漫画生物学
ひょうたん駒子
オズマ隊長①〜⑤
アリと巨人
ロップくん
ボンゴ
ごめんねママ
火の山
鉄腕アトム
バンパイヤ
魔神ガロン①②
ばるぼら①②
大地の顔役バギ
アバンチュール21
ブッダ①②
三つ目がとおる⑦⑧
ブラックジャック④⑤
火の鳥③④
タイガーブックス⑤⑥
ノーマン①〜③
鬼丸大将①②
どろろ①〜④
ビッグX①〜④
フライングベン①〜③
ナンバー7①〜③
マグマ大使①〜③
青いトリトン①〜④
やけっぱちのマリア①②
ミクロイドS①〜③
IL①②
サンダーマスク
時計じかけのリンゴ
鉄の旋律
フースケ
走れ!クロノス

マンガ ニュース

—雑　誌—

◎前回お知らせした「主婦の友」の連載は、一か月のび、七月発売の号からになりました。六月発売の号では、先生の特集が載っています。

◎講談社より映画「スーパーマン」の小説を先生が訳された本が出版されます。六月下旬。

◎東京池袋のサンシャイン劇場で公演されたパッション・オブ・ドラキュラのプログラムに〃ドラキュラ―その愛〃という題名でドラキュラについて書かれました。

◎オオムラサキを守る会、のマークを先生がお書きになっています。

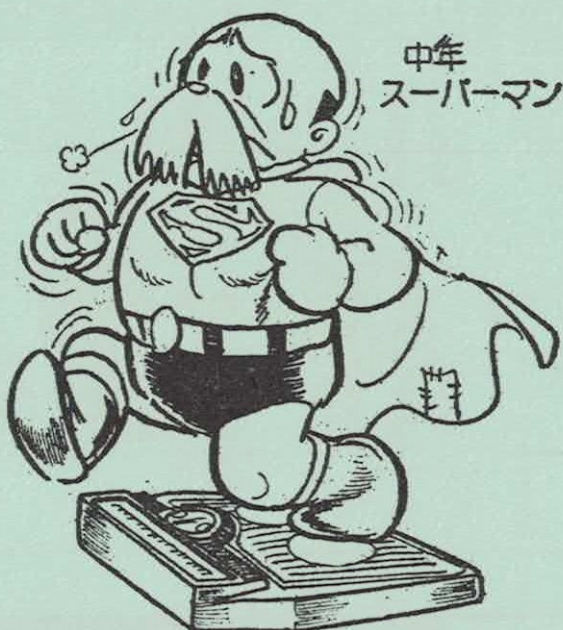
◎話の特集の七月号に「瀕死のアニメーション」と題して、本誌ゼロ号でも話された内容でアニメ界の現状を批判しています。

◎東名高速バス十周年記念キップのカットを先生が描かれています。六月十日発売。

◎六月売りのスクリーンに、スーパーマンについて、という題で書かれています。

◎ファントーシュ六月発売の号では、指輪物語について感想を書かれています。

◎スターログ六月号では大林宣彦氏とスーパーマンについての対談が載っています。

中年スーパーマン

◎月刊アウト六月号に、虫プロ関係の記事が載っています。

＊　＊　＊

七月、八月は先生もアニメでお忙しいためか、先生の作品はレギュラー以外は、あまり載らないようです。最後にひとつ。テレビCMで、日本警備保障と全農ガス器具のアニメの部分は手塚プロで製作したものです。

マンガ ニュース

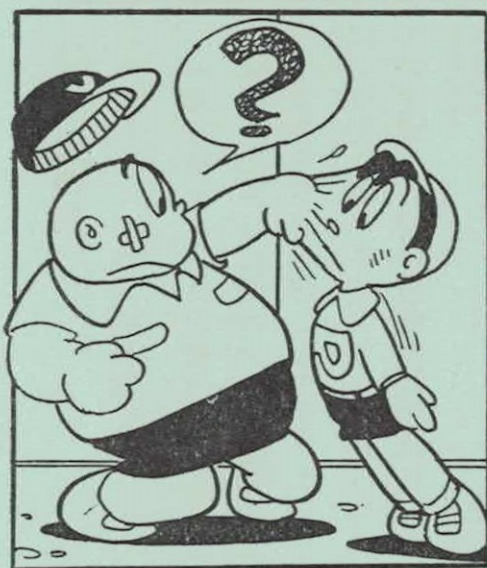
—単行本—

○青林堂傑作シリーズの一冊として、『サロメの唇』が六月下旬に発売。

○七月二十五日頃に『ブラック・ジャック』の⒆が発売。

○デカ版『ブッダ』の⑵は七月十日発売。

○全集は、六月分に『バンパイヤ⑶』『ぼくの孫悟空⑷』『三つ目がとおる⑹』『化石島』に『SFミックス⑵』を加えて、六月下旬から七月上旬発売。七月分に『未来人カオス⑶』『ダスト8⑵』『タイガーランド⑷』『スリル博士』を予定。

○文民社の「手塚治虫作品集⑹」ガムガムパンチは、例によってまた遅れ。七月?日発売で進行中とのこと。

ファンバッジできる!!

一九七九年度のファンクラブバッジができました。表は手塚先生原画のブラックジャック、裏はファンクラブ名と一九七九年の年号がはいります。

会員一名に一個あたり近日中に送ります。一般売りはしせまんし、会員でも余分に買うことはできません。

来年は来年の新しいバッジを作りますから、ブラックジャック・バッジのほしい人は今年中に会員になってください。

アニメ 火の鳥 2772 愛のコスモゾーン ニュース

「火の鳥」
——明田川進氏談——

「火の鳥2772」進行状況は現在、手塚先生の描いた絵コンテが全体の三分の一でき上がったところです。これを基に、先生と我々スタッフとで設定に入っています。設定は監督の杉山卓氏を中心に設定ブレーンの人びとがイメージ作りに入ったところです。設定ブレーンには、アニメーター以外にメカデザイナー、イラストレーター等も参加しています。現在は、美術設定キャラクター設定、メカデザインの作業に入っています。

今回の火の鳥2772〝愛のコスモゾーン〟はタイトルにもあるように、時代背景は二七七二年ですが、SF物語ではなく、愛をテーマにした作品で大きな意味での愛をあつかっています。今回の作品ではいくつかの新しい試みを行なう予定です。キャメラがアニメートするスリットスキャン、実写から一コマ一コマ取り出せるロットスコープ、ビデオコマドリアニメ機、ライブアクションの使用等を考えています。これ等はあくまでもある一部分の表現方法として考えています。

一時間四十五分という上映時間が短かすぎるのではないかとの声がありましたが我々としてはこれでも少し長いかも知れないと思っているくらいです。あまり長くて途中でだれないよう、中味の濃いものにしていくつもりです。さらに作品の舞台が2772年ですから、かなり自由な発想による世界、奇抜なアイデアを入れた美術設定、アニメならではの動きを盛り込んで、見るだけで楽しめる作品にするつもりです。

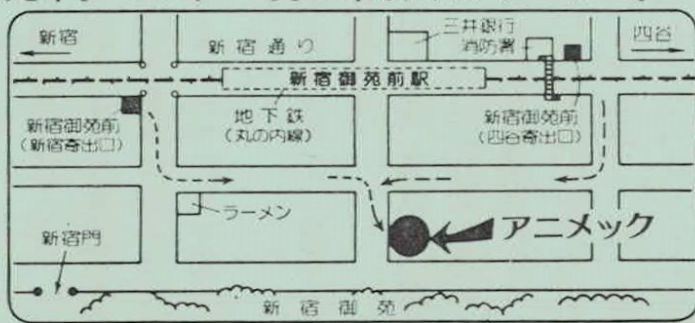
音楽に関しては、当初冨田勲とゴダイゴを予定したのですが、冨田氏が都合で参加できなくなり、現在冨田勲にかわる人をさがしている段階です。

スタッフを紹介しましょう。

総指揮、総監督、手塚治虫。監督、杉山卓。アニメーションディレクター、中村和子、石黒昇。美術監督、伊藤信治。撮影監督、八巻磐。原画、三輪孝輝、高橋信也、正延宏三、白川忠志、小林準治。制作担当、山川紀生。設定ブレーンとして、もとのりゆき、篠原博士、御厨さと美の諸氏が参加しています。

アニメ 火の鳥 2772 愛のコスモゾーン ニュース

とにかく「火の鳥2772」は手塚先生の作品ですから、先生が一番力を入れて考えておられるわけで、私たちもそれなりの意気込みでスタッフもそろって臨まねばなりません。ただ、作品の重厚さや愛は当然としても、真剣さ一辺倒のかた苦しいものではなくて、私たち自身も作っていて楽しめるようなものにするつもりです。そうでなければ皆さんにも喜んでもらえるはずがありませんから。

いい映画、満足できる映画を作っても、結局はお客さんが見てくれるかどうかですから、その意味でも、ファンクラブの方たちに応援をお願いして、ニュースソースはファンクラブを優先し、認識度と広がりを深めていきたいと思っています。皆さんどうぞよろしくお願いします。

手塚治虫の歩み

＝あと10年は書きつづけます＝

文春漫画賞授賞式で（昭和52年）
右は石子順氏

「手塚先生の経歴をくわしく教えてください」という兵庫県西宮市の須山隆雄さんのご要望にこたえて，本号では先生の主な経歴をリストアップしてみました。先生はあと10年はガンばるとはりきっています。

一九二六　十一月三日、大阪府豊中市に生まれる。のち兵庫県宝塚市に移る。

一九三三　六歳。池田師範付属小学校入学。泣き虫で、天然パーマをガジャボイボイとからかわれ、年中泣いていた。五年生のとき、昆虫図鑑から「オサムシ」を見つけ、ペンネームにする。

一九三九　十二歳。北野中学（現北野高校）入学。漫画の回覧誌をつくり、本格的に描き始める。

一九四三　十六歳。予科練を受けるが、視力が悪く不合格。

一九四四　十七歳。旧制浪華高校入学。

一九四五　十八歳。大阪大学医学部予科入学隣に住む毎日新聞の印刷局に勤める女性の紹介で、四コマもの「マアちゃんの日記帳」の連載が決まる。

一九四七　二十歳『新宝島』発表。重版を重ね、三〜四十万部を売る。大阪大学医学部入学。夏、東京へ。講談社、島田啓三氏、新関健之介氏を訪ねるが、デッサン力の欠如を指摘される。

一九五〇　二三歳。大阪の病院と東京の出版社を行ったり来たりする毎日。秋、偶然学童社を訪門。十月より「ジャングル大帝」（『漫画少年』）の連載開始。

一九五一　二四歳、春、光文社の依頼で「アトム大使」(『少年』)を描く。
一九五三　二六歳。インターンを終わり、医師国家試験にパス。開業免状を受ける。
一九五四　二七歳。池袋のトキワ荘へ移り、一年半のち引越す。トキワ荘では寺田ヒロオ氏、藤子不二雄氏、石森章太郎氏、赤塚不二夫氏、水野英子氏等「新漫画党」のメンバーと知り合う。
一九五八　三一歳。「びいこちゃん」「漫画生物学」で小学館児童漫画賞受賞。東映動画の「西遊記」に構成演出で参加。アニメーションの最初。奈良医大電子顕微鏡室に入籍。
一九五九　三二歳。おさななじみと結婚。
一九六〇　三三歳。東映動画で北杜夫氏等と「シンドバッドの冒険」の構成に参加。
一九六一　三四歳奈良医大で「異型精子細胞における膜構造の電子顕微鏡的考察」(タニシの精虫の研究)で医学博士の学位をとる。
一九六二　三五歳。アニメーション「ある街角の物語」完成。芸術祭文部大臣奨励賞、映画コンクール賞、ブルーリボン賞受賞。十一月、株式会社虫プロダクションとして新たに発足。

若き日の手塚治虫先生

一九六三　三六歳。一月、「鉄腕アトム」放映。その後TVアニメ「ジャングル大帝」、実験アニメ「しずく」「人魚」「メモリー」「展覧会の絵」、劇場用アニメ「千夜一夜物語」「クレオパトラ」等を制作。
一九六四　三七歳。「鉄腕アトム」で放送記者会賞特別賞受賞。
一九六五　三八歳。「鉄腕アトム」で厚生大臣児童福祉文化賞受賞。
一九六六　三九歳。九月、虫プロ商事株式会社発足。雑誌「COM」創刊。
一九六七　四〇歳。「展覧会の絵」でブルーリボン教育文化映画賞、芸術祭文部大臣奨励賞、毎日映画コンクール大藤信郎賞受賞。「ジャングル大帝」で日本テレフィルム技術賞、アジア映画祭特別賞、ベニス国際映画コンクールサンマル銀獅子賞受賞。諸作品にて放送批評懇談会ギャラクシー賞受賞。
一九六九　四二歳。五月、毎日新聞社「ぼくは漫画家」(自伝)刊行。
一九七〇　四三歳。「火の鳥」(『COM』)で講談社出版文化賞受賞。虫プロダクションを退社。手塚プロダクションを作る。
一九七三　四六歳。虫プロ・虫プロ商事倒産
一九七五　四八歳。「ブッダ」(『希望の友』)「動物つれづれ草」(『アニマ』)で文春漫画賞受賞。「ブラックジャック」(『少年チャンピオン』)で日本漫画家協会特別賞受賞。
一九七七　五〇歳。「ブラックジャック」「三つ目がとおる」(『少年マガジン』)で第一回講談社漫画賞受賞。六月、講談社『手塚治虫漫画全集』刊行開始。
一九七八　五一歳。二月、「火の鳥」東宝で映画化、八月上映。同月、二時間アニメ「バンダーブック」放映。
一九七九　五二歳。児童漫画の開拓と業績で厳谷小波文芸賞受賞。

ファンルーム

○前略、先日のファン大会に幸運にも参加することができた者です。幻の手塚作品のパイロットフィルムが見られたり、また漫画に対する先生の本音なども聞くことができたりして、クラブの合宿を途中でサボッて来た価値のある素晴しい大会だったと思います。

　さて、大会の中でも手塚先生がおっしゃられていましたが、今年の二時間アニメ「マリン・エクスプレス」で使われるスターシステムについて、お願いがあります。それは、どの人がどんな役で出て来るかということが楽しみなのですから、かつてTVアニメ化されたキャラクターの声には、その時の声優さんを使ってほしいのです。やはりアトムには清水マリさんで、サファイヤには太田淑子さんがいいと思います。ですからなるべくかつてのアニメファンのイメージをこわさないようにアテレコのキャスティングをしていただきたいと思います。できればファンクラブで、キャラクターのイメージボイスの投票をして声優さんを決定したらおもしろいでしょうね。

（千葉県市川市　寺田欣司）

■もちろん手塚プロの動画部でも、その点には充分注意を払っています。現在お茶の水博士が出てくるCMがありますが、声はちゃんと勝田久さんです。ところでおもしろいことに、「バンダーブック」ではアテレコのミスから、ヒゲオヤジを勝田久さんがやっていました。お気付きでしたか。

○手塚治虫ファンクラブへの意見。

一つ、ポスターやセル画などの通信販売をしてほしい。

二つ、少しふろくをつけてほしい。そして、次の会誌はいつ頃出るか、その前の号に載せてほしい。

（東京都府中市　菰田伸行）

■通信販売に関しては、検討中です。会誌ゼロ号に広告として載せたユーカリの製品など、定価より安価でおゆずりできるでしょう。ポスターやアニメセルも販売できるよう考えましょう。また、ふろくというわけではありませんが、手塚先生原画のブラックジャックのバッジを、会員の皆さん全員にお送りします。これは現在制作中で、一般には売りに出しません。御期待ください。（17ページ参照）

○会誌ゼロ号受け取りました。先生のアニメとマンガに対する熱意を聞かせていただき、大変うれしく思いました。「火の鳥2772」期待しています。「マリン・エクスプレス」も楽しみです。先生のアニメとマンガのジレンマもよくわかります。どうか、お体をこわさないように納得のいくお仕事をなさってください。

　それから、鉄腕アトム（カッパ）⑵⑻⑼⑾⑿⒀⒃、リボンの騎士（小学館GC）③及び（虫プロ）③があります。何か手塚先生関係のものと交換してください。

（〒444　岡崎市井田町4—171　中村まゆみ）

■連絡は必ず往復ハガキでお願いします。また、ハガキには会

員番号を書き、会員であることを確認できるようにしてください。

○えー、このたびはお日がらも良く、会誌ゼロ号発行おめでとう。ゼロ号には懸賞などなかったけれど、これからは懸賞などもつくってほしいです。ぜひつくってください。会誌一号まっています。

■懸賞というわけではありませんが、ゼロ号には会誌名募集のお知らせをしました。皆さんから多数の御応募をいただきましたが、どうもピッタシ!! というものがありません。したがって誌名は当分このままでいくことにしました。御了承ください。

また、今月は会誌第一号発行記念として、手塚先生のサイン本を十名の方にプレゼントします。手塚先生の似顔絵をハガキに描いて(黒インキか墨汁で)送ってください。当選者の絵は会誌第三号に掲載する予定です。

○手塚治虫のファンクラブ会誌ゼロ号届きました。可愛い本でありますネ。まっゼロ号ですから手塚先生の『アニメとマンガに全力を!』という記事だけでしたが、次号からは会員のいろんなたよりも載るとより楽しいものになると思います。もし小さなカットでも、新聞や雑誌に載る予定があったときは、『マンガニュース』のページで、どんなものでも教えてください。今年は手塚先生の年になりそうですネ、アニメ界もマンガ界も。ならば我々手塚ファンはいままで以上の大声援を先生に送らなければ!

■マンガニュースは次回から、一週間単位で取材しますので、もっとくわしく報告できるでしょう。

(ファンクラブ宛のおたよりには、必ず会員番号を記入してください。これがないと全て無効となります。)

手塚治虫ファンクラブ 入会案内

①会の目的

・手塚治虫とファンとの交流を深める。
・ファン同士の交流と親睦を図る。

②会費

・半年会費一二〇〇円、一年二四〇〇円。
・送金は切手または振替で。住所・氏名・年齢・職業を明記してください。
・送金された人には会員証をお送りします。
・会費は会誌代と送料に充当することを基本とします。

③活動

・会誌の定期的発行(当面隔月刊)。
・ファン大会・ファンの集いなどの開催。
・各地サイン会などの広報活動
・アニメセル、古書・新刊などの交換、販売会などの通信。
・新連載・新刊情報、アニメ試写会などの連絡通信。
・その他手塚治虫とファンを結ぶ諸活動。

(本誌取材・大西克巳・高松直丘)

会誌1号
一九七九年七月一日発行
発行所〒160東京都新宿区高田馬場3―12―5
手塚治虫ファンクラブ
TEL・03(368)八七七二
振替・東京一〜一七七〇三
(後援・㈱手塚プロダクション)

TV映画『鉄腕アトム』のオリジナルサウンド　ROOTS OF ELECTRONIC SOUND

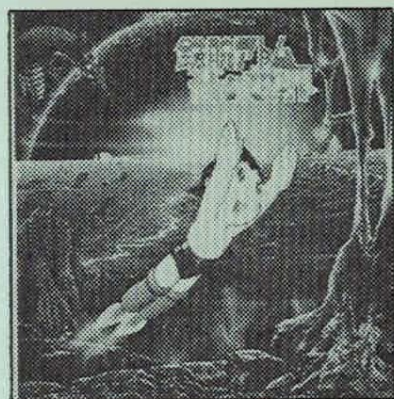
鉄腕アトム/音の世界

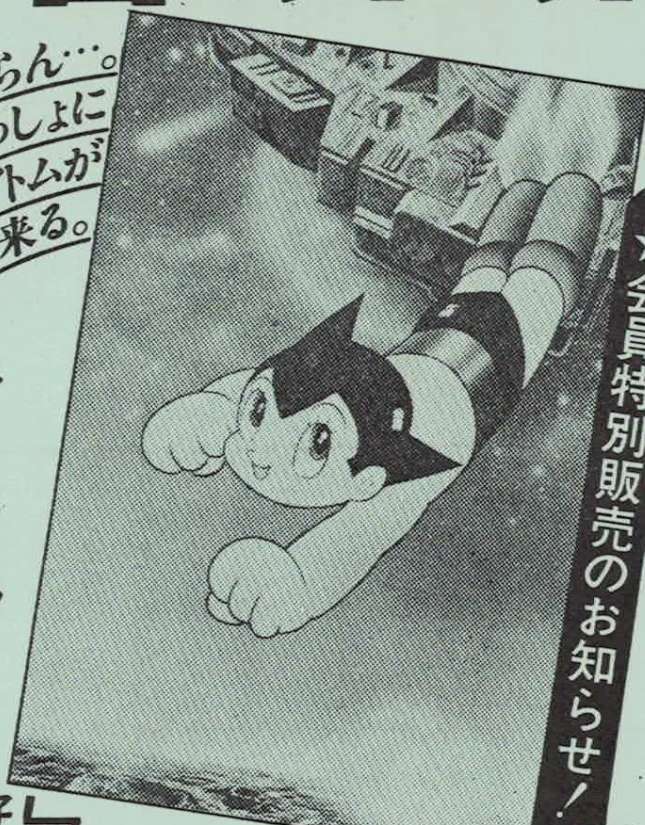
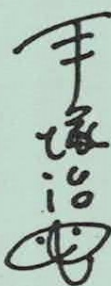
レコード・カセット
同時発売!!

目をとじてごらん…。
ほら、あの懐しい足音といっしょに
ぼくらのアトムが
帰って来る。

手塚治虫

★会員特別販売のお知らせ!

「鉄腕アトム」のもうひとつの発見

私が覚えている限りでも、「鉄腕アトム」をレコード化した例は何度かありました。けれど、この『鉄腕アトム／音の世界』は今までのように映像(アニメ)の脇役としての音楽や効果音を集めたレコードとは違い、「鉄腕アトム」の〈絵〉のイメージからは独立した、もうひとつの新しいイメージの世界を私たちに与えてくれます。私たちはこのレコードから、かつてのTVや映画での「アトム」の懐しい記憶を呼びさますと共に、まったく新鮮な驚きを体験することができるでしょう。「鉄腕アトム」を知らない世代の方々にとっても未知の世界と出会える音のワンダー・ランドとして、素晴しい贈りものになるに違いありません。こうした新しい試みが、「鉄腕アトム」だけにとどまらず、もっともっと広がってゆくことを心から願っています。

音響制作＋構成＝大野松雄　プロデューサー＝吉田秀樹
協力＝手塚治虫　㈱手塚プロダクションコジマ録音

好評発売中!

●ファンクラブ会員に限り、レコードをお買上げの方にもれなく、ポスターをプレゼントいたします。

●お申し込みは、住所、氏名、レコード・カセットのいずれかと申込数を明記し、現金と下記申込券を同封の上お送りください。

〈宛先〉〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18(原宿ピアザビル) ビクター音楽産業株式会社第3制作本部宣伝課「アトム」係

アトムの足音、飛ぶ音からギャグサウンドまですべてが電子音で構成されたアトムの音－当時の原テープそのままに、ここに再現!!

1.テーマ・ソング～アトム登場　2.アクセント集[その1]
怪人のアクセント／円盤の音／電話ベル／ピーチク・パーチク／他
3.アトムの音
アップ・ロング／着陸＋トン／サーチライト／急降下・ロング／他
4.アクセント集[その2]
カメの水くみ／かえるのダイビング／メチャクチャ・テーマ／他
5.アトム対決集
怪人アクセントー1.2.3／アトム対ロボットー1.2.3.4.5.6／他
6.アトムのB.G.M.
A、B、C、D、E、F、／テーマ・ソング

●レコード●SJX-2183 30cm⑤LP●￥2,000
★カセット・テープ★VCK-599★￥2,000

6月25日発売!!

長篇アニメ映画「北極のムーシカ ミーシカ」の主題歌をチェリッシュがさわやかに唄います。

北極のムーシカ ミーシカ

主題歌

●KV-2014
●17cm⑤シングル●￥600

虫プロ・日活児童映画「北極のムーシカ ミーシカ」主題歌
北極のムーシカ ミーシカ
挿入歌
きらめきのスキャット

■長篇アニメーション・虫プロ再起第一作
■企画・製作＝虫プロダクション
日活児童映画株式会社

サントラ盤
●JBX-2001●30cmステレオ・LP●￥2,000 ◉8月25日発売!

Victor
ビクターレコード・音楽テープ

アトム・申込券